



# 全社的なAI活用による生産性革命

次期中期経営計画へのAI戦略組み込み提案

2025年11月1日

デジタル戦略部

# なぜ今、AI戦略なのか？



人件費率の高止まり **（業界平均比+8%）**



非生産業務の多さ **（全業務時間の40%）**



AI戦略の緊急性 **（競合他社の85%が既に着手）**

# AI戦略で実現する3つの変革



**コスト削減**

**最大30%**

人件費高騰に対応し、定型業務の自動化による運用コストの大幅削減を実現



**意思決定の高速化**

**処理時間56%短縮**

非生産業務を削減し、データ分析と情報処理の効率化でスピード経営を実現



**新規事業創出**

**148.7兆円**

競争優位を確立し、日本全体で創出される潜在的な市場価値を獲得

# フェーズ1：業務自動化への重点投資



## 経理/人事業務のRPA化

**工数削減率70%**

請求書処理、給与計算、勤怠管理の完全自動化により年間3,000時間の工数削減



## 営業支援ツールの導入

**顧客対応力45%向上**

AIによる顧客分析と提案書自動生成で商談成約率と顧客満足度が大幅向上



## 現場でのパイロット導入

**3か月以内に効果検証**

製造、物流、営業の3部門で先行導入し、成果を全社展開へとスケールアップ

# 初期投資の費用対効果（ROI）予測

## 初期投資額

1億円

AI関連ツール導入費、システム構築費、初期トレーニングコストを含む

## 3年間の想定削減コスト

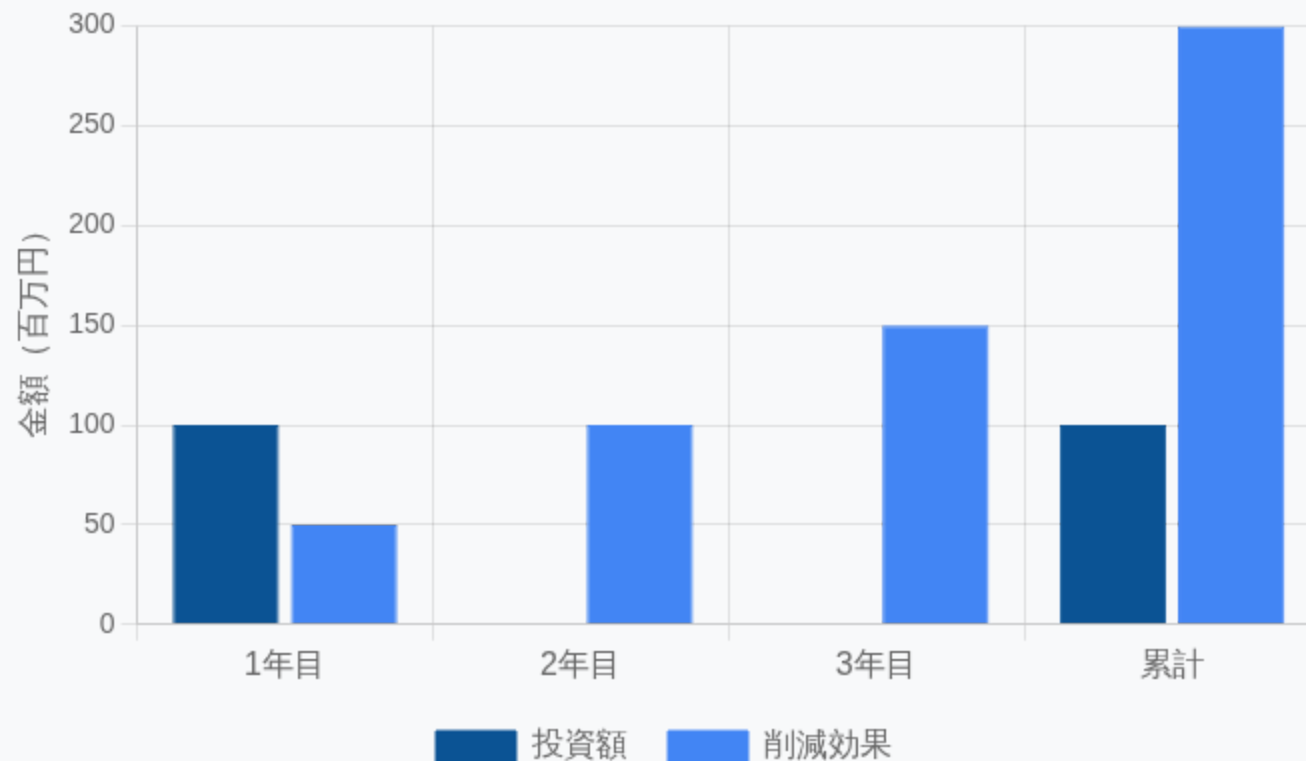
3億円

人件費削減、業務効率化、エラー率低下による損失回避を含む累計額

## ROIの最大化ポイント

- 全社横断的な活用推進
- 業務フロー見直し
- 段階的な展開計画

3年間のROI推移（単位：百万円）



# AI組織と人材育成の戦略



## AI推進室の設置

**56%**

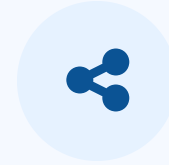
大企業がAI活用方針を策定し、  
専門部署を設置  
(総務省調査2025年)



## 学習プログラム

**20万人**

NTTデータが2027年までに育  
成する生成AI人材の目標数  
(2024年発表)



## 社内AI活用事例共有

**92%**

事例共有を実施している企業  
における生成AI導入成功率  
(2024年調査)

# データガバナンスとセキュリティ



## データ利用ルール策定

データのライフサイクル全体に対するガバナンスポリシーを策定し、全社で透明性のあるデータ活用体制を構築



## セキュリティ基準の統一

AI導入に伴う新たなリスクに対応するため、機密性・完全性・可用性を維持する技術的対策と運用基準を統一



## 法的コンプライアンスの遵守

AI事業者ガイドラインに基づくプライバシー保護、公平性確保、アカウントビリティの実現と説明責任の履行

# 次期中計に向けた予算要求

## ✂ ツール導入費

7,500万円

生成AI・RPA・分析ツール・セキュリティソフト等の導入とライセンス費用

## 🎓 人材育成費

4,500万円

AI人材養成プログラム開発、外部研修、認定資格取得支援、講師招聘費用

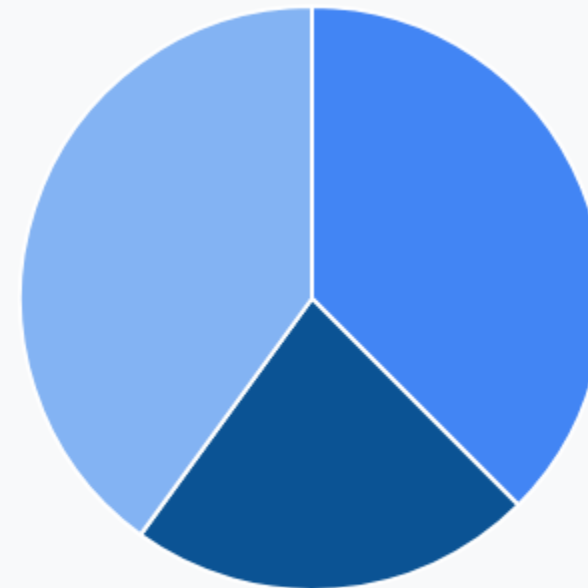
## 🛠 開発環境構築費

8,000万円

クラウド環境、高性能計算資源、テスト環境、データ連携基盤の整備費用

総予算額: 2億円

AI戦略予算内訳 (単位: 百万円)



■ ツール導入費 (7,500万円) ■ 人材育成費 (4,500万円)

■ 開発環境構築費 (8,000万円)

# Conclusion: 生産性革命の実現



## 提案の再確認

### AI戦略の全社展開

全社的なAI活用で業務効率化・  
コスト削減・新規事業創出を  
実現



## 期待される効果

### 3年間で投資対効果3倍

人件費率の低減と利益率向上  
により、持続的な企業成長を加速



## 取締役会への承認依頼

### 先行投資予算の承認

次期中期経営計画へのAI戦略組み込みと予算配分の正式承認を要請